

== 円に内接する四角形 ==

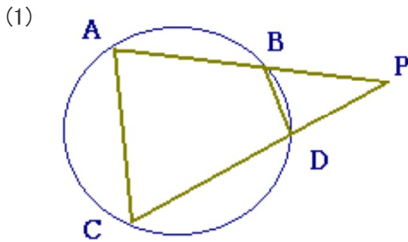
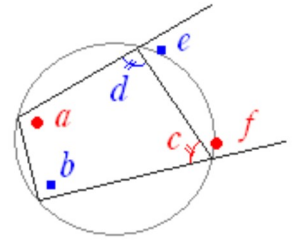
《要約》

「円に内接する四角形の向かい合う1組の角の和は 180° 」です。

これを使えば、右図のような図形において

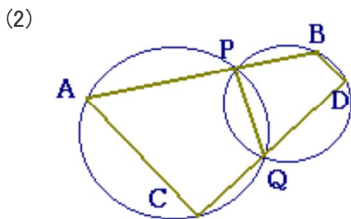
赤で示した角について
向かい合う1組の角の和は 180° だから
 $a+c=180^\circ$
直線だから $c+f=180^\circ$
ゆえに $a=f$ が成り立ちます。

青で示した角について
向かい合う1組の角の和は 180° だから
 $b+d=180^\circ$
直線だから $d+e=180^\circ$
ゆえに $b=e$ が成り立ちます。



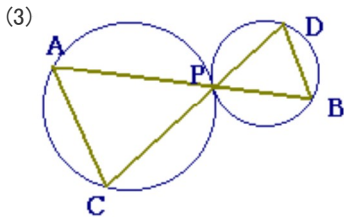
円外の点Pを通る2直線が円と交わる点を各々A, B及びC, Dとすると、次のうち正しいものはどれか。(正しいものをクリック)

- 1 ACとBDはつねに平行になる。
- 2 ACとBDは決して平行にならない。
- 3 ACとBDは平行な場合も平行でない場合もある。
- 4 [Help]



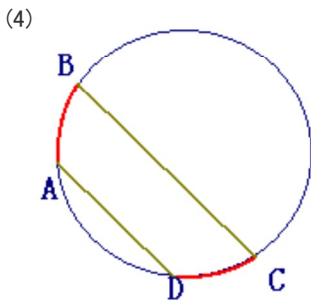
2円が2点P, Qで交わる時、P, Qを通る直線が2円と交わる点を各々A, B及びC, Dとすると、次のうち正しいものはどれか。

- 1 ACとBDはつねに平行になる。
- 2 ACとBDは決して平行にならない。
- 3 ACとBDは平行な場合も平行でない場合もある。
- 4 [Help]



2つの円が点Pで外接しているとき、Pを通る2直線が円と交わる点を各々A, B及びC, Dとすると、次のうち正しいものはどれか。

- 1 ACとBDはつねに平行になる。
- 2 ACとBDは決して平行にならない。
- 3 ACとBDは平行な場合も平行でない場合もある。
- 4 [Help]



点A, B, C, Dは1つの円周上に右回りにならんでいるものとする。弧ABと弧CDの長さが等しいとき、次のうち正しいものはどれか。

- 1 ADとBCはつねに平行になる。
- 2 ADとBCは決して平行にならない。
- 3 ADとBCは平行な場合も平行でない場合もある。
- 4 [Help]